

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療費情報総合管理分析システムに要する経費		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	調査課		村山 令二		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国民健康保険法第106条、 高齢者の医療の確保に関する法律第134条、 統計法第19条 他		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療保険各分野の統一的なデータ管理を行い、制度改正、診療報酬改定等の企画、立案のための実態把握等を迅速かつ的確に行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療保険制度の医療費データを制度別、地域別、保険者別、月別等に総合的、体系的に管理することにより、医療費分析を迅速かつ的確に行う。医療保険制度の円滑な運営のため、健康保険、船員保険、国民健康保険及び後期高齢者医療に係る事業状況並びに実態調査等を集計・分析する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	330	258	276	348	278	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	330	258	276	348	278	
	執行額	172	100	84				
執行率 (%)	52%	39%	31%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	健康保険、船員保険、国民健康保険及び後期高齢者医療の事業状況並びに実態調査等の集計・分析。		成果実績	11	11	11	11	11
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	健康保険、船員保険、国民健康保険及び後期高齢者医療の事業状況並びに実態調査等の集計・分析。		活動実績 (当初見込み)	11	11	11	11	-
				100	100	(100)	(100)	
単位当たり コスト	7,636,000(円/分析)		算出根拠	X(執行額 84,000,000円) / Y(11種類)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	システム開発費	263	228	平成23年度の機器更改終了による減。				
	借料及び損料	49	49					
	雑役務費	35	0.5					
計	348	278						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約相手先のみしか履行できないため、随意契約とした。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>健康保険、船員保険、国民健康保険及び後期高齢者医療の事業状況並びに実態調査等の集計・分析については、制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料であるため、今後とも必要な経費である。</p> <p>契約手続きについて、随意契約から一般競争入札に変更するなど、予算執行の適正化に努めてきたところである。今後も、法律改正等に伴う各統計・調査システムのシステム開発について、効率化・予算等を重視した開発に取り組む。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省

【随意契約】

A. 社会保険診療報酬
支払基金
16百万円

医療費データ及び
調剤レセ電データの
提供業務

【一般競争入札】

D. みずほ情報総研
5百万円

システム開発

【随意契約】

B. 国民健康保険中央会
10百万円

医療費データ及び調
剤レセ電データの提
供業務

【一般競争入札】

【一般競争入札】

G. ISTソフトウェア
8百万円

システム開発

【随意契約】

C. 日本電気
21百万円

調査課LANシステム機器
の借料
FCディスクドライブ借料

【一般競争入札】

F. SAY企画
4百万円

システム開発

【一般競争入札】

H. ニューコン
3百万円

システム開発

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.社会保険診療報酬支払基金			E.システムアナライズ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	医療費データ及び調剤レセプトのデータ提供	16	雑役務費	健康保険・船員保険事業状況報告システムの改修	10
			雑役務費	健康保険・船員保険被保険者実態調査報告システムの改修	4
計		16	計		14
B.国民健康保険中央会			F.SAY企画		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	医療費データ及び調剤レセプトのデータ提供	10	雑役務費	医療給付実態調査報告システムの改修	4
計		10	計		4
C.日本電気			G. ISTソフトウェア		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	調査課LANシステムの借料一式	19	雑役務費	調剤報酬動向分析システムの改修	8
借料	FCディスクドライブの借料	2			
計		21	計		8
D.みずほ情報総研			H.ニューコン		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	国民健康保険実態調査報告システムの改修	5	雑役務費	医療費適正化分析のための保険者情報管理システムの開発等一式	3
計		5	計		3

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.社会保険診療報酬支払基金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会保険診療報酬支払基金	医療費データ及び調剤レセ電データの提供業務	16	随意契約	

B.国保中央会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国民健康保険中央会	医療費データ及び調剤レセ電データの提供業務	10	随意契約	

C.日本電気

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気	LANシステム機器の借料、FCデスクドライブ借料	21	随意契約	

Dみずほ情報総研

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研	システム開発委託	5	3	

Eシステムアナライズ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	システムアナライズ	システム開発委託	10	1	
2	システムアナライズ	システム開発委託	4	8	

F SAY企画

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	SAY企画	システム開発委託	4	6	

G ISTソフトウェア

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ISTソフトウェア	システム開発委託	8	4	

Hニューコン

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニューコン	システム開発委託	3	6	